

湖畔の風

★ 第35回田瀬湖湖水まつり開催

7月27日(土)・28日(日) 第35回田瀬湖湖水まつりが開催されました。

あいにく大雨で27日に開催予定の花火大会は28日に延期。

東和B&G海洋センターでのウォータースポーツ無料体験は中止となりました。

28日に予定されていた、Eボート大会と親子釣り体験(会場：田瀬釣り公園)は開催されました。

水空中花火大会

雨のため28日(日)に延期され、観客はいつも半分ぐらいでした。田瀬振興センターグラウンドも開放しましたので、車60台、100人くらいの方々が夜空を見上げました。7時半から打ち上げが始まり、約3000発の花火を楽しみました。



田瀬釣り公園 親子釣り体験



28日(日)午前 約10組の親子やペアの方が釣り体験をしました。

スタッフに釣れそうな場所を教えてもらいながら、静かな湖面に釣り糸を垂らしていました。鯉釣りは初心者には難しいということですが、数人の方が大きな鯉を釣り上げていました。



田瀬ウォータースポーツフェスティバル Eボートレース

10人1チームで漕ぎ手8名、舵取り1名、号令手1名が乗船して競い合う競技です。今年は7チームの参加があり、スリーメンズ(白土)が優勝しました。

優勝したスリーメンズは花巻市から招待され、9月8日

(日)一関市川崎で開催される第30回北上川流域交流Eボート大会に参加することになりました。

応援できる方は現地に行って応援をお願いいたします。



★ 成島和紙夢灯り展 2024 夏の陣 in 田瀬

8月9日(金)から12日(月・祝)まで、「成島和紙夢灯り展 2024 夏の陣 in 田瀬」が開催されました。

これは昨年12月に成島と土沢で開催されたものと同じで、花巻市東和町成島地区において350年以上前から受け継がれている伝統工芸の成島和紙に触れていただき、広く知っていただくことを目的としています。

今回は、田瀬地区が会場ということもあり、当コミュニティ会議も協力をしました。

約400個のランプシェードを興禅院、薬師堂、田瀬釣り公園(10日、11日2日間)に展示されました。暗くなるほど優しく、温かみのあるあかりが良い雰囲気でした。

期間中、成島和紙を使った御朱印帳づくりやコウソの芯の笛の絵付け、写経などのワークショップが行われました。その中でも、クリスタルボウル演奏会が10日(土)18時から開催され、地区内外から参加者が訪れました。演奏者は昨年田瀬地区に移住された空音さん(新保欣也さん)です。お寺の本堂で演奏され、横になって聞きました。音の響きや音色に引き込まれていき、聞き終わった後は力が抜け頭もスッキリしたような気がしました。

今回、聞くことのできなかった地域の皆さんにも機会があったら是非聞いていただきたいです。



荘厳な音色で体の芯まで響き、なかなか経験することが出来ない時間でした



興禅院本堂
お寺の雰囲気に
とてもあって
いました



釣り公園は、
明るく可愛い
らしい飾りつ
けでした



★ 白土川いきものしらべ

8月3日(土)、白土地区において白土川の生き物しらべをしました。

昨年は県の環境アドバイザーを講師にお願いしたのですが、今年は菅原会長をはじめ役員が講師となり、生き物を探してみました。参加者は幼児と小学生が7人、大人が11人でした。

魚や貝類は昨年より多く捕まえることが出来ましたが、カワムシやヤゴなどの水中生物は少なかったようです。「気温や水温が例年より高いせいで成虫になってしまったのでは」と会長が話されていました。捕まえた、生き物の名前や数を数えてまとめをした後、川で冷やしておいたスイカでスイカ割りを楽しみ、みんなの渴いたのを潤しました。



小・中学校の歴史



田瀬の学校の歴史はそれなりに古い。最初是小倉地区の明治6年の田瀬学校（現 田瀬釣り公園付近）でしょうか。明治20年に田瀬尋常小学校（旧田瀬小学校）となり、明治43年に大野に分教場、大正8年には分離独立。内大野・佐藤家が校舎。しかし、すでにこの地区には明治6年に蘭恵小学校（坂口家裏山）があり、明治43年に田瀬小学校の分校とされ、一時期並立していた時期がありました。そして、大正8年に大野尋常小学校に併合されたと思われますが、昭和26年の火災により記録は失われてしまいました。（註1）

かくして昭和51年、田瀬小学校と大野小学校は統合され、新たに中通の田瀬中学校の手前に東和町立田瀬小学校が誕生しました。

一方、田瀬中学校はというと、昭和22年に田瀬小学校（小倉）に併設される形で谷内村立田瀬中学校が開校され、昭和27年独立校舎が中通に建てられ、昭和30年町村合併により東和町立田瀬中学校となりました。

これからの数回、子ども達の学業以外の活躍に目を向けていきます。

卓球で活躍・中学校

昭和34年、中総体県大会で今まで無名の田瀬中学校が、卓球男子団体準優勝、女子3位入賞。そして、男子個人準優勝。突然のように県下に田瀬中学校の名前が広がりました。36年には団体男子優勝、更に38年には男子個人優勝、準優勝、女子個人で3位と上位を独占して、全県に田瀬中学校ここにありと、その存在を知らしめたのでした。（註2）

また、昭和37年第17回国民体育大会岡山大会では田瀬中学校を卒業して花農高に進学した男子生徒が岩手代表として出場し、女子生徒では、中学3年で北海道に引っ越し、函館市大妻高校に進学して北海道代表として出場。国体の場で再会し活躍しました。（註3）。遠くふるさとを離れた田瀬出身の人たちに「望郷躍進」の思いを巡らせたのでした。

この生徒たちの活躍には

なぜこの時期の生徒たちは活躍したのでしょうか。それには、先生方の力があったからにほかなりません。

「谷あひめぐる やまなみは 幾ひらの雲 見はるかす 砥森の峯の 秀でたる 高きをわれら 望むなり」。新生田瀬中学校の校歌の一節です。昭和33年に赴任した渡辺憲二校長の作詞・作曲です。また34年には今西光映教諭が国語の先生として赴任。今西先生といえば卓球の名手で、課外授業で卓球を指導された生徒たちは水を得たさかなのように躍動していました。前述のとおり昭和34年からの県下の卓球大会には田瀬中学校は入賞校の常連となっていました。

今では、この時の生徒たちが大きくなり、スポーツ少年団をつくり、指導者として週1回、田瀬地区社会体育館となっているかつての体育館に集まって子どもたちを指導しています。



註1 『谷内村郷土誌』によれば、明治6年以前の田瀬は、菅谷勇助（対面）、曾我徳平（矢崎）、菅谷忠八（川原）の3氏の自宅で子弟を集めて教育せり。

註2 男子1位 - 吉田英晴、2位 - 門岡 保、女子3位 - 伊藤悦子（現 原口）

註3 吉田英雄、曾我悦子（現 薄衣）

昭和34年中総体県大会 卓球男子団体準優勝、女子3位男子個人準優勝：吉田英雄
上左から吉田孝子・菅原朝子・今西光映教諭・田村百合子・朝倉米子
下左から吉田英雄・朝倉 進・小原国勝・小田島恒雄

お知らせ！

◎第2回 資源ごみの搬入量について

8月6日(火) 回収された資源ごみを業者に運び込みました。
資源ごみの量につきましては下記のとおりです。

紙類 2,370 kg 金属 65 kg アルミ 230 kg ペン 41 本
ご協力ありがとうございました。

次回は 12 月 3 日(火)に資源ごみの搬入を予定しています。
よろしくお願いいたします。



◎いきかえれ田瀬小学校

「風の楕円」作品制作中。8月より、土日午前9時より昼まで
作業を行っています。現在、錆止め塗装の途中です。

次は障子紙を赤く塗り、白い紙とつける作業になります。
関心のある方、ご協力できる方よろしくお願いいたします。



風の楕円（完成予想図）

9月の行事予定

- 各地区敬老行事（小倉 8 日 中通 13 日 白土 15 日）
- みのりまつり実行委員会

10月の行事予定

- みのりまつり
- 市政懇談会
- モルック講習会&モルック大会
- 田瀬ダム 70 周年記念 「激流」上映会
- 田瀬湖さわやかウォーキング



諸事情により、変更になることがあります。
ご了承ください。

田瀬地区の人口

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。

（令和6年7月末現在）

行政区	世帯数	人 数			比 較 (6月末)
		男	女	計	
田瀬第1	68	78	87	165	—
田瀬第2	30	33	34	67	—
田瀬第3	73	69	84	153	—
計	171	180	205	385	—



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで